

北海道手をつなぐ育成会 げっぽう

第798号

昭和39年3月13日第三種郵便物認可第10号(毎月1日発行・定価一部10円会費を含む)

●発行日—令和6年7月1日

●発行所—札幌市中央区
〒060-0002 札幌市中央区
北2条西7丁目かでの2・7(4F)

電話 011-251-0855

FAX 011-251-0804

Eメール doikusei@air.ocn.ne.jp

●発行人—佐藤春光

印刷所 (株)北海道機関紙印刷所

ひとりの親の声から始まる

くなかまとともにこれからく

NPO法人
白糠町手をつなぐ育成会

50周年記念式典

当会は町内に住む知的障がいのある子供の保護者がNHKの番組に出演して、悩みを打ち明けたのがきっかけで、社会福祉協議会や役場の力添えを頂き昭和49年4月に発足し、令和5年で50周年を迎えました。

令和6年4月21日に創立50周年記念式典を開催しました。

【創立50周年記念式典】

式典の冒頭、当会の運営に尽力を賜り今は無き先人の方々へ黙祷を捧げました。

会長式辞では「育成会は支え合うなかまがあつての会だと思っております。



す。これからいられ、地域で安心して生活していけるよう、理事・会員と手をつなぎ邁進してまいりたいと考えております。保護者・会

員の皆様、関係者の皆様には、これまでと変わらぬ愛情と温かさをもつて、共に歩んでくださるよう、今後とも私たちへの一層のご指導、ご鞭撻のほどをお願い申し上げます。

「と挨拶させて頂きました。

来賓には白糠町長棚野孝夫様・白糠町議会副議長石田正義様・白糠町社会福祉協議会会長岸本秀彦様・白糠町役場保健福祉部部長湊谷雅弘様のご臨席を賜り、祝辞を頂きました。



【感謝状功労者表彰贈呈式】

当会の発展に寄与された方々へ感謝状と功労彰を送らせて頂きました。感謝状を故高橋トキ様、高橋裕子様へ贈呈しました。当会創設時から知的障がいのある子供達に深い御理解を賜り、施設の運営建設に際しましては、貴重

な御意見御指導と多分なる御支援を育成会だけではなく、事業所にも賜りました。功労者表彰を橋本房恵前会長、細谷淑子前副会長、春田裕前監事に授与させて頂きました。永年育成会の運営に奮闘して頂き、50周年を迎えることが出来ました。長きに渡りありがとうございました。

【最後に】

式典も無事に終了し、皆さんが創立50周年をとて喜んでくれ、なかまの為に今までやって来たことは間違っていないのだと改めて思いました。

会員数の減少や高齢化など当会を取り巻く環境は厳しくなっています。が、今後共皆様の御指導・御協力宜しくお願い致します。

(白糠町手をつなぐ育成会

会長 村上 誠)

白糠町手をつなぐ育成会は、創立50周年に当たり、記念誌を制作しました。記念誌には、橋本房恵前会長が50年を振り返り、6ページにわたる文章を寄稿しています。橋本さんの文章は、ずうっと温かく心から信じられる人達と出会えた事に、深い深い感謝です。そして大切に、大事にしていきたいですね。」と結ばれています。

「なかまとのつながり」という、育成会の精神が綴られています。

令和6年度 北海道手をつなぐ育成会 定時総会 開催

今こそ育成会の出番 活発な意見交流で盛会に終わる

令和6年度定時総会が、5月20日(月)13時30分から、かでの2・7で開催されました。南は函館・北斗、北は名寄、東は釧路・網走から文字通り全道から51名の皆さんが出席して行われました。会員74育成会のうち、30育成会が会場出席、38育成会が委任状での出席で合計68育成会となり、総会成立要件の過半数を大きく超えて成立しました。

佐藤会長の挨拶の後、ご来賓の紹介、2名の方からご挨拶をいただきました。その後、議長に登別市手をつなぐ育成会事務局長の山田大樹氏、議事録署名人に札幌市手をつなぐ育成会副会長の畠山志のぶ氏、北広島市しょうがい児者を持つ親の会事務局長の中川民恵氏を選出。令和5年度の事業報告と会計決算、令和6年度の事業計画と予算案が全会一致で承認されました。



協議の中で、津別町育成会から法人を立ち上げた後に、交流や繋がりという育成会が本来大切にしなければならないことが失われていったことや、いま研修会を積み重ね、その中で意見交換をしていく中で、つながりを取り戻している取り組みについて報告され、それに関する現状や意見の交流が行われました。



また、全道大会が行われる函館市からは、参加の呼びかけ、準備状況とプログラムの概要の報告がありました。

全道の頑張りが合わさること

本人・家族の声を行政に届けよう

【会長 挨拶】 佐藤 春光



皆さん、お忙しい中お集まりいただき、ありがとうございます。

今、一番力を入れている本人支援については、全道大会のたびに本人大会を行ってきて、だんだんその成果が実りつつあります。全道大会の参加は、本人の参加が過半数を占めるような状態になってきました。全道的にも支援をお願いします。今年の函館大会は、北斗高等支援学校の生徒と先生と一緒に協力して、開催要綱を作る取り組みをしています。特別支援学校の子どもたちが関わって開催要綱を作るということは、多分今までなかったことで、そういう意味で、今年は画期的な大会になると思います。真夏の暑い時期から、観光シーズンをはずして、9月下旬の良い時期に開催することにしました。ぜひ、全道から参加し、普段思っていること話していただきたいと思います。どの地域も過疎化、高齢化で大変ですが、

育成会がしっかりしていて、意見を言っていかなければ、障がい者本人や親、家族の声が行政になかなか届きません。大変だと思いますが、全道の皆さんの頑張りが合わさることが大事だと思うので、よろしく願います。

【ご来賓 挨拶】(要旨)

北海道保健福祉部福祉局障がい者保健福祉課
精神医療担当課長 西本 司様

これまで長きにわたり障がいのある方々やそのご家族の福祉の向上のため、道内各地の親の会と連携し、積極的に活動されておられることに深く敬意を表します。また道が委託している知的障がい者生活文化教室開催事業においては、知的障がいのある方々の社会参加の促進のため、道内各地で絵画教室や音楽教室などの開催にご尽力をいただいておりますことに、厚くお礼を申し上げます。

道では本年3月、令和6年度から令和11年度までを計画期間とする「第1期ほっかいどう障がい福祉プラン」を策定しましたが、より実効性のある障がい福祉サービスの提供を目的に、これまでの道障がい者基本計画と道障がい福祉計画を統合して策定したもので、希望する全ての障がい者が安心して地域で暮らせる社会作りを目指し、ライフステージに応じた切れ目のない支援体制作りを推進することとしています。道としては、今後も障がいのある方が希望する地域で暮らし、障がいの特性に応じた



地域活動が保障される社会の実現に向けて、関係の皆様とともに取り組んでいきますので、一層のご理解とご協力をお願い致します。

北海道教育庁学校教育局特別支援教育担当局長
針ヶ谷 一義様

道教育委員会では、昨年の3月に令和9年度までを計画期間とした「特別支援教育に関する基本方針」を策定しました。特別支援教育の推進に関する基本的な考え方、充実に向けた方策を示しているものですが、インクルーシブ教育システムの理念のもと、全ての子どもたちが障がいの有無に関わらず、多様な個性を認め合い、支え合いながら、誰もが生き生きと活躍できる社会が実現するよう特別支援教育を推進していくことにしています。本年度の重点事項に、特別支援教育の質の向上を掲げ、特別支援教育に関する研修を充実させたり、コーディネーター向けの研修を創設するなど、全ての教員の専門性向上に向けて取り組んでいます。さらに、多様な学びの場の充実に重点を置いています。特別な教育的支援を必要とする子どもやその保護者が、将来への希望を実感できるよう、教育活動の充実、体制整備に取り組んでいきますので、今後ともご理解とご協力をお願い致します。

【令和6年度 事業計画】活動の重点

- 1. ブロック体制の確立と活動の充実・強化
- 2. 育成会活動活性化の推進
- 3. 他機関・他団体との連携強化
- 4. 障がい理解と合理的配慮の普及・啓発

貸借対照表
令和6年3月31日現在

(単位：円)			
科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	2,373,249	2,928,713	△555,464
未収金	263,000	356,800	△93,800
前払金	56,414	6,900	49,514
流動資産合計	2,692,663	3,292,413	△599,750
2. 固定資産			
(1)基本財産			
定期預金	1,000,000	1,000,000	0
基本財産合計	1,000,000	1,000,000	0
(2)特定資産			
夢基金	3,523,592	3,523,532	60
財政調整基金	24,316,766	24,316,526	240
特定資産合計	27,840,358	27,840,058	300
固定資産合計	28,840,358	28,840,058	300
資産合計	31,533,021	32,132,471	△599,450
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	318,067	51,700	266,367
預り金	487,336	129,181	358,155
流動負債合計	805,403	180,881	624,522
負債合計	805,403	180,881	624,522
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	1,000,000	1,000,000	0
(うち特定資産への充当額)	27,840,358	27,840,058	300
正味財産合計	30,727,618	31,951,590	△1,223,972
負債及び正味財産合計	31,533,021	32,132,471	△599,450

令和5年度 決算書(予算対比正味財産増減計算書)
令和5年4月1日から令和6年3月31日まで (単位：円)

科 目	全 会 計		
	予算額	決算額	差 異
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
特定資産運用益	0	300	△300
受取会費	3,050,000	3,030,300	19,700
事業収益	700,000	832,200	△132,200
受取補助金等	7,662,000	7,564,320	97,680
受取委託費	11,350,000	11,350,000	0
機関紙頒布収入	3,182,000	3,099,850	82,150
雑収益	110,000	111,078	△1,078
経常収益計	26,054,000	25,988,048	65,952
(2)経常費用			
事業費	18,054,000	17,264,058	789,942
職員費	6,432,000	6,174,637	257,363
賃金	1,260,000	1,260,000	0
会議費	20,000	19,880	120
旅費交通費	800,000	762,890	37,110
通信運搬費	250,000	250,344	△344
手数料	20,000	4,490	15,510
消耗品費	103,000	102,388	612
印刷製本費	1,184,000	1,183,160	840
助成金	6,153,000	5,737,181	415,819
研修費	1,700,000	1,637,088	62,912
委託費	132,000	132,000	0
管理費	10,098,000	9,947,962	150,038
職員費	2,834,000	2,751,369	82,631
退職給付費用	208,000	207,530	470
福利厚生費	6,000	5,282	718
会議費	161,000	160,664	336
旅費交通費	1,110,000	1,109,160	840
通信運搬費	243,000	236,213	6,787
手数料	50,000	45,464	4,536
消耗品費	4,354,000	4,309,258	44,742
使用料・賃借料	417,000	416,528	472
負担金	588,000	587,500	500
委託費	77,000	77,000	0
雑費	50,000	41,994	8,006
経常費用計	28,152,000	27,212,020	939,980
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,098,000	△1,223,972	△874,028
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,098,000	△1,223,972	△874,028
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,098,000	△1,223,972	△874,028
一般正味財産期首残高	0	31,951,590	△31,951,590
一般正味財産期末残高	△2,098,000	30,727,618	△32,825,618
II 正味財産期末残高	△2,098,000	30,727,618	△32,825,618

5. 本人活動への支援
6. 広報・情報・芸術・スポーツ活動の推進

道サポート協会定期総会

道育成会の定時総会に引き続き、サポート協会の定期総会が開催されました。

名寄心と手をつなぐ育成会の岩崎甚一郎氏を議長に、議事録署名人には札幌市手をつなぐ育成会の畠山志のぶ氏、北広島市しょうがい児者を持つ親の会の中川民恵氏を選出し、議事が行われ、全議案が承認されました。今年度から加入要件に発達障がい児者を加えることとなったため、規約の一部変更も行われました。

総会の開催にあたり、AIG損害保険株式会社札幌支店長北川孝之様、株式会社ジェイアイシー北海道支店長藤元建一郎様からご祝辞をいただきました。



要望に応える補償制度を

【会長挨拶】 畑中 三岐子

昨年、保護者会などの開催への助成制度を開始しました。私のところでは、総会の後に「親亡き後のセミナー」を開催し、好評をいただいております。多くの育成会の皆様にも、



このような制度を利用して、勉強・研修を重ねていっていただければと思います。また、今年度からは補償の対

令和6年度 収支予算書
令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位:円)

科 目	全 会 計		
	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益			
受取会費	2,950,000	3,050,000	△100,000
事業収益	800,000	700,000	100,000
受取補助金等	7,884,000	7,662,000	222,000
受取委託費	11,350,000	11,350,000	0
機関紙頒布収入	2,952,000	3,182,000	△230,000
雑収益	110,000	110,000	0
経常収益計	26,046,000	26,054,000	△8,000
(2)経常費用			
事業費	17,948,000	18,054,000	△106,000
職員費	7,069,000	6,432,000	637,000
賃金	1,260,000	1,260,000	0
会議費	20,000	20,000	0
旅費交通費	800,000	800,000	0
通信運搬費	250,000	250,000	0
手数料	20,000	20,000	0
消耗品費	603,000	103,000	500,000
印刷製本費	1,184,000	1,184,000	0
助成金	6,410,000	6,153,000	257,000
研修費	200,000	1,700,000	△1,500,000
委託費	132,000	132,000	0
管理費	10,256,000	10,098,000	158,000
職員費	3,029,000	2,834,000	195,000
退職給付費用	240,000	208,000	32,000
福利厚生費	20,000	6,000	14,000
会議費	161,000	161,000	0
旅費交通費	1,200,000	1,110,000	90,000
通信運搬費	243,000	243,000	0
手数料	50,000	50,000	0
消耗品費	4,163,000	4,354,000	△191,000
使用料・賃借料	435,000	417,000	18,000
負担金	588,000	588,000	0
委託費	77,000	77,000	0
雑費	50,000	50,000	0
経常費用計	28,204,000	28,152,000	52,000
評価損益等調整前当期経常増減額	△2,158,000	△2,098,000	△60,000
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△2,158,000	△2,098,000	△60,000
2. 経常外増減の部			
(1)経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△2,158,000	△2,098,000	△60,000
一般正味財産期首残高	0	0	0
一般正味財産期末残高	△2,158,000	△2,098,000	△60,000
II 正味財産期末残高	△2,158,000	△2,098,000	△60,000

象を発達障がいの方にも広げました。これからは様々な補償制度を、皆様のために考えていく所存ですので、変わらぬご支援ご協力をお願いします。

【令和6年度 事業計画】（抜粋）

（PR事業）

- ・月刊広報紙『げっぼう』に生活サポート総合補償制度に関する記事を掲載します。
- ・ブロック連絡協議会開催事業や育成会の各種会議・イベントで総合補償制度パンフレット等を配布しPR、制度への加入を勧めます。
- ・会全道大会函館大会への参加者に実施要綱を配布する際、制度パンフレット等を同封します。

- ・北海道サポート協会の広報紙「北サポだより（NO.2）」を作成し会員へ配布します。

（助成事業）

- ・研修会などを道育成会と共催
- ・保護者会等の開催における助成制度の実施
- ・本人が作成した作品の発表の場の確保、作品の作品カレンダーの製作・販売事業の共同実施

（研修事業）

- ・道育成会の研修事業への共催・助成、「生活サポート総合補償制度」の普及と加入者対応等業務の負担
- ・本人の会が実施する「ひろげよう みんなのわ」への助成
- ・「障害基礎年金」「親なきあと」「後見人制度」などのセミナーを関係機関と連携して開催

足跡を振り返る

5月1日ニュージーランドの知的障害のある当事者で国連障害者権利委員会委員のロバート・マーティンが亡くなった。

1998年、国際育成会連盟（インクルージョン・インターナショナル、以下I・I）の本人準備会議がオランダのノルドバイクで開催された時、日本からこの会議に参加した二十数名の当事者はロバートの講演を聞いて感激し、翌年8月に札幌で開催の育成会全国大会にぜひ招聘しようと考えた。

検討の結果、会長とロバートの来日を実現し、本人大会に参加、全体会で講演した。本人大会の交流会は知事公館の裏庭で開催され、支援者コリガンと参加した。

2002年、I・Iの世界大会がオーストラリアのメルボルンで開催された。以降4年ごと（メキシコ・アカプルコ、イギリス・バーミンガム）、日本から当事者も参加し、ロバートと交流を持つことができた。

2003年つくば市で開催されたアジア会議に参加し、講演した。

2004年国連のアドホック委員会では障害者権利条約制定に貢献した。

同年、ピープルファーストジャパンの結成大会が東大阪で開催された時も講演者として参加した。

たびたび来日しているが、特に津久井やまゆり園事件他に関しては、日本の入所施設やグループホームにも言及している。

国連の障害者権利委員会（注：18名で構成、知的障害者として初めて委員となる）で日本の障害者福祉や精神科病院の長期入院に関する勧告もロバートが権利委員会で意見を述べている。

バーミンガムでのI・I世界大会閉会式で『特別な』という言葉は世界中で毎日のように使われています。それはとても良い言葉のようですが、知的障害のある人には分離されているように感じることがあります。とても無礼で劣った気分になります。一度だけ『特別な』をとりのぞいてみませんか？』と述べている。



彼の生い立ちは「世界を変える知的障害者 ロバート・マーティンの軌跡」現代書館 長瀬修監訳として発行されている。

（小樽手をつなぐ育成会 会長 光増昌久）

続報 函館大会

9月28日に開催される全道大会函館大会の準備が進んでいます。今回は「思い出観光」と「チャレンジ」についてお知らせします。

【思い出観光】

函館を代表する観光スポットの五稜郭や元町、BAYエリアをツアーします。五稜郭タワーでは、五稜郭を一望できます。桜の季節ではありませんが、



青々とした木の茂る五稜郭公園も素敵ではないでしょうか。BAYエリアでは赤レンガ倉庫を中心に観光や買い物ができます。赤レンガ倉庫をバックに記念撮影をしたり、おしゃれなお店を見て回るのもいいかもしれません。

【チャレンジ】

♪遊んで学ぼう!! 中空土偶♪

かぶりもの、ポップアップカードの塗り絵、福笑い、粘土で土偶づくり・勾玉づくりを体験しながら、中空土偶や縄文文化を体験していきます。



また、多言語化縄文紙芝居、渡島・檜山のご当地カック（縄文応援キャラクター）が一覧になったチラシをご用意できるように準備中とのことです。

開催要綱が7月上旬に地区育成会に届く予定です。会員のみならず関係者に呼びかけていただき、参加の輪を広げて下さい。オンラインでの視聴も可能です。

7月の予定

- 1日(月) 会長表彰選考委員会
- 4日(木) 第4回 函館大会実行委員会
- 8日(月) 第5回 三役会議
- 第1回 広報・企画専門委員会

知的障がい児者・自閉症児者の 生活サポは 家族の安心を支えます

発達障がい児者の方もご加入いただけるようになりました。

- 日常生活に関する相談支援
 - 就労に関する相談支援
 - 権利擁護に関する相談支援
- の3事業を実施しています。

当会にご入会いただくと、
知的障がい児者、自閉症児者のための
病気やケガの総合補償制度をご利用いただけます。

生活サポート総合補償制度は…

全国で約15.5万人※のみなさまにご利用いただいている補償制度です。

※2023年11月時点

AIG損保の普通傷害保険

生活サポート総合補償制度

特定障害者福祉団体傷害保険特約、弁護士費用等補償特約、
職業従事事故対応費用補償特約、地震・噴火・津波危険補償特約セット

保険のお問合せはこちら

■担当代理店・扱者

株式会社 ジェイアイシー 北海道支店

〒060-0042 札幌市中央区大通西13丁目4番地102

レジディア大通公園2F

TEL: 011-221-7009 FAX: 011-221-1704

受付時間: 午前9時～午後5時

(土・日・祝日・年末年始を除く)

■引受保険会社

AIG損害保険株式会社

<https://www.aig.co.jp/sonpo>

札幌支店

〒060-0003 札幌市中央区北三条西4-1-1 日本生命札幌ビル17F

TEL: 011-204-7510

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

主な補償内容

病気やケガで入院したとき
入院給付金

賠償責任を負ったとき
個人賠償責任補償

ケガをしたとき
死亡・後遺障害・入院・通院・手術／各保険金
(地震・噴火・津波によるケガも対象)

虐待・逮捕・勾留に対応するとき
弁護士費用等補償 ※プランによって補償します

病気や死亡したとき
疾病葬祭費用保険金 ※プランによって補償します

就労中に他人にケガをさせたり
物を壊してしまったとき
職業従事事故対応費用補償 ※プランによって補償します

※上記は概要ですので詳細は下記までお問い合わせください。

ご入会のお問合せはこちら

北海道知的障害児者生活サポート協会

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7 4階

北海道手をつなぐ育成会内

TEL: 011-251-0855 FAX: 011-251-0804

受付時間: 午前9時～午後5時(土・日・祝日・年末年始を除く)

2024年1月現在の内容です。(D-007025 2025-03)

知的障がい・
発達障がい、
ダウン症、
てんかんの有る方、
ご家族に

病気やケガが絶えない…
成人病や生活習慣病に備えたい…
他人の物を壊してしまった…
虐待・雇用現場での差別など
人に相談しにくい悩みがある…

障がいのある方とご家族へ



ぜんちの

あんしん保険

少額短期健康総合保険(無告知型)2019年創設

- ・最高日額1万円
- ・個人賠償責任補償
- ・弁護士費用補償
- ・安心サポート

特別支援教育を必要とされている方へ



ぜんちの

こども傷害保険

権利保護補償付傷害保険 2019年創設

- ・入院・通院を日額保障
- ・個人賠償責任補償
- ・トラブルに巻き込まれた際、
弁護士がサポート

弁護士が
全面的に
サポート



このようなお困り事に
心当たりがある方に…

詳しい資料のご請求・お問合せはこちら



ぜんち共済株式会社

関東財務局長(少額短期保険)第14号

〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-5九段北325ビル4階

※ご契約にあたっては必ず「ご契約に際しての重要事項」「約款」東京海上日動の「重要事項説明書」をよくお読みください。ご不明な点等がある場合には、ぜんち共済株式会社までお問い合わせください。

【2020年1月作成 19-T06633】

0120-322-150

平日9時～17時/土日・祝日・年末年始を除く

URL: <http://www.z-kyosai.com/>

取扱代理店(資料請求・その他お問い合わせ)

有限会社オフィスブレイン

〒060-0032

北海道札幌市中央区北2条東3丁目2番地 札幌セントラルビル2階

TEL: 011-207-2522 FAX: 011-207-2523

『どんな障がいがあっても、地域で普通に暮らしたい』

障がい者の願いを実現することが事業所協議会の
目的です。私たちは、『経営』と『志』の統一を
目指しています。体力のある事業所も体力のない
事業所も助け合います。あなたの事業所の入会を
待っています。

北海道手をつなぐ育成会 事業所協議会

〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2・7(4F)

電話(011)251-0855/FAX(011)251-0804

E-mail: doikusei@air.ocn.ne.jp

★会員事業所紹介★

特定非営利活動法人 紋別市仲良し共同作業所

〒094-0014 紋別市緑町5丁目5-5 ふれあいハウス・みどり

電話・FAX (0158)24-8951

E-mail: nakayoshi555@olive.plala.or.jp

★地域活動支援センターⅢ型 定員: 10名

★日中一時支援事業 定員: 10名

★主な作業・製品

☆布製品・陶芸製品作り

☆請負作業

☆福祉ショップ営業

☆その他

